

Chiyoda Times vol.9

2020年
9月16日



大岩 昌昭

大阪支店 部長

2 005年(平成17年)8月に中途入社し、現在は大阪支店の部長を務める大岩昌昭。半世紀以上もこの業界に身を置き、今もなお第一線で活躍する大岩に、思い出に残る仕事や、今後の目標を聞いた。

培ってきた 経験と技術を生かして

31年在籍した会社の後、別の勤め先に移ってさらに5年勤務した大岩。そのほとんどの期間は橋梁の塗装工事に関わり、大鳴門橋の塗装にも関わった。ちょうど前職を退職したタイミングで、千代田塗装工業株式会社の会長である安田に人社の誘いを受ける。前職当時、大阪支店長だった安田とは、同業者として付き合いがあった。長年培った大岩の手腕を見込んで声をかけてくれたのだ。

現在は、塗装工事の現場管理に携わる。施工計画の作成や折衝をはじめ、官公庁や民間企業から工事発注依頼があれば見積書を作成し、工事の受注が決まったら、現場作業員の配置を検討する。現場の管理には、これまでの長い経験が生かされているという。

限られた時間の中で、 効率よく安全に

豊富な現場経験を積んできた大岩であったとしても、より綿密な管理を必要とした仕事があった。新大阪駅の新幹線ホームに架かる屋根の鉄骨塗装の現場だ。終電後の深夜1時頃から工事に取り掛かり、始発列車より先に走る軌道確認車が通過するまでの3時間弱で作業を完了させなければならない。

業務の内容自体は昼間とそう変わらないが、最も気を配ったのは、物品の置き忘れだ。もし、列車が遅延したら多大な損害にもつながるうえ、事故を招かぬこともある。そのため



作業員には業務前の朝礼で普段以上に喚起し、工事後の点検にも念を入れて、ホームや線路上をくまなく確認した。

安全のためなら 費用は惜しまない

大岩は、安全対策への費用は惜しむべきでないと考えている。道員一つとってもその足場であれば、作業員が足を踏み外しにくいようにつくられた全面板張足場など、値が張っても防衛的な機能がしっかりと備わったものを選ぶ。すべては安全管理のためであり、

ひいては会社の利益にも直結することだ。加えて、作業員が気持ちよく仕事ができるような環境作りも大切だと思っている。

「提携する協力会社のスタッフにも日頃から気さくに声をかけ、相談しながら業務を進めていくことを心がけています。作業員に気兼ねなく作業内容等について意見交換できることが、現場の安全にもつながると思っています。」

思いがけず受けた栄誉

2015年7月から9か月間に渡り、橋梁の塗装工事を行った。近鉄電車の軌道の上に架かる旧日本道路公団の橋梁を、上り下り線の1スパンを手がける仕事だ。当初は一般的な塗りかえの予定であったが、塗膜の成分を専門機関で分析した結果、鉛が含まれていることが判明する。そのままでは作業員に危険が及ぶ可能性があったため、急遽仕様を変更。鉛が含まれた旧塗膜をすべて剥離除去してから塗装する工程になり、それに伴い工事金額

も当初の3倍に変更された。

冷えた時期は、剥離剤を塗ってもすぐに硬化してしまつたため、塗膜の除去作業にはかなりの日数を要した。それでも従来と変わることなく、安全に配慮しながら監督したこと、15人ほどの作業員が従事したこの現場で、誰一人として怪我人を出さず、無事に工事を完了させたのだった。

2016年10月、この時の工事が西日本高速道路株式会社から評価され、同社の関西支社長から表彰を受けた。過去にも何度か感謝状をもらった経験はあったものの、表彰されたのは初。安全管理、無事故災害、品質管理、出来栄への4項目に対して、84点という高い評価を得たことが、その理由だ。

「長年この業界でいろんな工事を手がけてきましたが、表彰状をいただいたのは嬉しい限り。僕にとって一番の成果です。」

今後も安全に配慮し、 次の仕事へ向かっていく

どんな現場でも着実に管理し、数え切れない

企業情報

- ◆ 設立年：1949年10月
- ◆ 年商：12.0億円
- ◆ 従業員数：24名

※2020年3月時点

インタビューを飾ってくださった



大岩昌昭さんへのメッセージ

巻頭インタビューに登場していただいた大岩さんと親しいお二人に、第一印象や思い出などのコメントをいただきました！

大岩さんの第一印象

物静かな人。無口で人見知りというようなイメージでした。

大岩さんとの思い出

お酒の席では、お話もよくされてお酒もよく飲まれて昼間との違う一面がみられました。私としては夜のほうが好きかも。

大岩さんの存在

仕事で分からない場面があり頭を抱えていると、横からスッと資料を差し伸べてくれ、助けてくれる優しい方です。

大岩さんの尊敬しているところ

きっちりと仕事をこなすところ。

大岩さんにメッセージをお願いします！

長年の経験があり、まだまだ仕事をこなすと思いますが、無理をせず健康第一をお願いします！



大阪支店 次長
なかがわ ひろかず
中川 宏和さん
にお聞きしました！



大岩さんの第一印象と今の印象

最初に会ったのは30年以上前、それぞれ千代田とは別の塗装会社に勤めていた頃です。当時は入札や現場説明で会うだけでしたが、今と変わらず真面目な方でした。仕事であまり間違いをしない上に、自分で決めたことは必ず守るという誠実な方だと思います。犬の散歩のために、あまり飲みに行かずいつも真っ直ぐ帰るという一面もあります。

大岩さんとの思い出

冬になったら休日は毎週のようにイノシン駆除をしているようで、イノシン肉を分けてもらったこともあります。私は子どもの頃にイノシンでお腹を下したことがあった上に、臭いからと最初は敬遠していたのですが、さばいたばかりの肉はそこまで臭くなく驚きました。

大岩さんにメッセージをお願いします！

いつも頼りにしています。身体を大切にこれからも頑張りましょう。



大阪支店 担当部長
みす ひでふみ
翠 秀文さん
にお聞きしました！



Message 社長メッセージ

今「すべきこと」を考えよう 地域貢献活動報告と危険予知活動について

今年1月に日本で初めて新型コロナ患者が報告されてから9ヶ月が経過しました。

4月には緊急事態宣言が発出されたために外出自粛を余儀なくされ、テレワークや時差通勤の推奨、現場でのコロナ対策の実施等、私たちの働き方も大きく変わりましたが、ある程度は順応したのではないのでしょうか。

令和元年度の売上高は12億円（前年度9.7億円）と過去最高売上を達成し、同時に当社の社会的責任（CSR）も今まで以上に大きくなる中、このコロナ渦で私たちには何ができるのかを考え、アスベスト除去工事や剥離作業で使用する化学防護服を、弊社事業所のある兵庫県と大阪府に1000セットずつ、東種子川の現場がある新居浜市に500セットの寄付をし、感謝状をいただきました。微力ながら地域貢献ができ非常に嬉しく思います。

しかしながら一方で、協力会社社員が飲酒運転により検挙されたとの話を耳にし、残念でなりません。

私たちは毎日現場で危険予知活動を行っています。

お酒を飲んで車を運転すればどうなるのか？とても簡単なことです。

当社は「町を綺麗にする仕事」で社会貢献・地域貢献をしている会社です。飲酒運転をする社員、歩きたばこをする社員、空き缶やたばこのポイ捨てをする社員がいる会社に「町を綺麗にする仕事」をお願いしたいと思うのでしょうか。

皆さんには改めて当社社員としての自覚を持ち、協力会社の模範となる行動をお願いしたいと思います。

代表取締役社長 山下幸二

